



躍はんの重力

<発行>
 特定非営利活動法人
 飯能市体育協会広報委員会
 (飯能市民体育館内)
 <発行日>
 平成27年3月15日

YAKUDO Hanno

東日本大震災復興支援「とどけよう スポーツの力を東北へ！」

市民体育祭 新スローガン！
**「スポーツで健康づくり、
 まちづくり」**

大盛況！地区体育祭

NPO法人
 飯能市体育協会 主催事業

南高麗地区 平成26年9月28日開催
 今年も南高麗小学校と合同による南高麗地域大運動会を開催。昼休みには、AKB48の「恋のフォーチュンクッキー」を会場にいる皆さんで楽しく踊りました。



加治地区 平成26年10月12日開催



障害物競走！
 加治地区の将来を担う
 元気一杯の子供達です。



34団体が参加して
 の開会式入場行進

吾野地区 平成26年10月19日開催
 吾野地区は、特色ある競技として、野菜を使った大人向けの買い物競争と子供向けのお使い競走があります。子供からお年寄りまで楽しく参加しています。



東吾野地区 平成26年9月28日開催
 体育祭の目玉「丸太切りリレー」
 最後は綱引きで大興奮！



名栗地区 平成26年9月20日開催
 本年は、飯能市との合併10周年地区体育祭と開校50周年記念名栗小学校運動会の合同で行いました。多くの地域住民に参加いただき大盛況でした。今後も地域と小学校との合同で実施していく予定です。



第二地区 平成26年10月19日開催



第二地区体育祭
 最後の4地区(4字別)
 の威信をかけた戦い！
 綱引きです。



笑顔・笑顔の体育祭
 第二地区の女性は元気
 一杯。字別対抗大ムカデ
 競走です。

※残念ながら飯能中央・精明・原市場地区は中止となりました。

平成26年度スポーツ教室の紹介

(NPO法人飯能市体育協会主催事業)

水泳教室 (6月19日～8月4日)

市内各小学校にて14回開催(延892名参加)
目的として、水の事故に遭遇した場合自身の命を守れる程度に泳げることを課題とした。
小学校各校から成果大との評価を得ています。



剣道教室 (7月24日～12月18日)

飯能市民体育館にて18回開催(延347名参加)
健康な心身を鍛える目的の剣道教室は老若男女なかでも親子・兄弟も積極的に参加され有意義な教室でした。



硬式テニス教室 (9月13日～10月4日)

阿須運動公園テニス場にて3回開催
一般・子供達を別々に指導、コーチを真剣な眼差しで見ている子供たちの目が印象的でした。
世の中のテニスブームに乗って今後が期待されます。



グラウンドゴルフ教室 (9月3日)

吾野いき生き公園にて開催(36名参加)
生涯スポーツとしてのグラウンドゴルフはルールは簡単ですがマナーが大切なスポーツです。



小学生ソフト テニス 教室

(12月6日～1月24日)

飯能市民体育館メインアリーナにて5回開催
(延59名参加) 5回の教室で初心者も多い中
指導内容もきめ細かいカリキュラムで上達も早く
試合形式で試合ができるまでの成果がありました。



親子空手道教室 (7月19・20・21日)

飯能第一小体育館にて開催 (延54名参加)



空手道連盟指導者のマンツーマン指導のもと
初心者も短時間で上達しました。



スポーツ少年団ジュニアリーダーが一生懸命に
子ども達の指導を手伝ってくれました。

ジュニアゴルフ 教室

(7月28～8月21日)

飯能ゴルフセンターにて7回開催 (延61名参加)



テコンドー 教室 (8月23日～9月27日)

国際安田会館にて6回開催 (延36名参加)

武道の精神がひしひしと感られる会館、凛と
した空気の中、気迫ある声が響く。



小学生バレーボール 教室

(9月6日～11月15日)

聖望学園体育館にて6回開催 (延92名参加)
基本プレーを学び、みんなで声をかけあいながら
パス練習、真剣な姿に汗が光る。



第57回奥むさし中学校駅伝競走大会(平成26年12月6日) 宮沢湖外周コース
優勝チーム・市内入賞チームへのインタビュー(勝因や今後の目標について)

男子 (参加チーム数 71チーム)

(NPO法人飯能市体育協会主催事業)

優勝 川角中学校(毛呂山町)

指導者) コースの特徴を理解させコースをイメージしながら練習を行い、選手全員が力を出し切れたチーム力の勝利です。来年の県大会に優勝し全国大会を目指します。

選手) ウォーミングアップがしっかりできず不安でしたが、一人一人が力を発揮し優勝することができました。来年の県大会優勝を目指します。

第8位 飯能西中学校

指導者) 仲間と助け合い日々の練習に取り組んだ結果、入賞を果たすことができました。今後は駅伝を通して培ったものを活かして色々な場面で活躍して行ってほしい。

選手) 体調を整えるのに苦労をしましたが、最後までみんなの力でタスキをつなげました。駅伝を通して自分に負けない心が出来たと思うので今後も何事にも諦めず挑戦して行きたいです。

女子 (参加チーム数 58チーム)

優勝 越生中学校(越生町)

指導者) 生徒には駅伝以外の学校・家庭生活も全力で取り組むように指導しております。今回の優勝は選手・サポート・応援・保護者・教職員のチームワークの勝利、今後は県大会入賞を目指します。

選手) みんなで心をつにし、毎日の練習を一生懸命取り組んだ結果優勝することが出来ました。今後は埼玉駅伝に出場し上位を目指します。

第5位 飯能西中学校

指導者) 男子チーム同様です。

選手) 寒い時期なので準備運動を入念にして厳しい練習に取り組んだ結果、一人一人が自分の力を発揮し良い結果が出せました。来年は今年以上の結果が出せるように頑張ります。

第8位 飯能第一中学校

指導者) 毎日の練習を通して、様々な活動に前向きな生活や行動ができるように成長してほしいと話しています。1・2年生は来年も練習を継続し、自分の可能性を引き出してほしいと思います。

選手) ベストコンディションに持って行く為の準備と、登りコースを克服することが大変でしたが、みんなの力で入賞できました。今後は苦しかった練習を力にしてそれぞれの部活に活かしていきたいです。

第13回奥むさし駅伝競走大会 (平成27年1月25日開催)

(飯能市共催事業)



飯能市の冬の風物詩、新旧合わせて第61回目の伝統行事「奥むさし駅伝競走大会」が去る1月25日(日)県内外から207チーム(高校の部50チーム・一般の部157チーム)参加して盛大に行なわれました。著名なチームやランナー、一般駅伝愛好者まで幅広い選手が奥武蔵路の自然の中を日頃鍛え抜いた成果を発揮され競い合いました。なかには裸足でタスキをリレーするチームに沿道から大きな声援が送られておりました。

結果は(高校の部)埼玉栄高校(一般の部)中央大学A(地区体協の部)高根地区体育協会が見事優勝に輝きました。

今大会には関東学生陸上連盟会長 青葉昌幸様にも式典等にご列席頂き選手を激励され、終始熱い視線で大会に華を添えて頂きました。



編集後記

毎年1回発行しています広報紙とは別に増刊号を発行することにしました。目的は体育協会・加盟団体・地区体協さんからの情報をもとにトピックス形式で身近な話題を中心にお知らせしようと考えております。今回は、中学校駅伝・スポーツ教室・地区体育祭を中心に掲載しました。ご意見・ご感想等ございましたらお聞かせ下さい。 広報委員会